

## [22]大学院教育学研究紀要表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/2928827>

---

出版情報：大学院教育学研究紀要. 22, 2020-03-25. Faculty of Human-Environment Studies, Kyushu University  
バージョン：  
権利関係：



坂元一光教授 近影

# 坂元一光教授略歴

坂元一光  
昭和29年5月8日生

昭和52年3月	九州大学教育学部卒業
昭和52年4月	九州大学大学院教育学研究科修士課程入学
昭和54年3月	同上修了
昭和54年4月	九州大学大学院教育学研究科博士後期課程進学
昭和56年3月	九州大学大学院教育学研究科博士後期課程中途退学
昭和59年4月	九州大学教育学部研究生
昭和60年3月	同上退学
平成17年3月	博士（教育学）取得（九州大学）
昭和56年4月	九州大学教育学部付属比較教育文化研究施設助手（～昭和58年3月）
昭和60年4月	光陵女子短期大学国際教養学科専任講師
平成2年4月	光陵女子短期大学国際教養学科助教授
平成4年4月	大分県立芸術文化短期大学国際文化学科助教授
平成10年4月	九州大学教育学部助教授（附属比較教育文化研究施設）
平成10年4月	九州大学大学院人間環境学研究科助教授
平成13年7月	中国中央民族大学客座教授（少数民族研究中心）
平成19年4月	九州大学大学院人間環境学研究院准教授
平成21年4月	九州大学大学院統合新領域学府准教授（兼任）
平成21年11月	九州大学大学院人間環境学研究院教授
平成21年11月	九州大学大学院統合新領域学府教授（兼任）
平成28年4月	九州大学教育学部長（～平成30年3月）
平成30年4月	九州大学大学院統合新領域学府副学府長（～平成31年3月）

## 学協会役員

平成21年4月	日本子ども社会学会理事（～平成22年3月）
平成23年4月	日本子ども社会学会評議員（～平成30年3月）

ほか

# 坂元一光教授業績目録

## 著書

1. 『子ども文化の原像——文化人類学的視点から——』岩田慶治編（「韓国の子どもと祖先」pp.439-458, を分担執筆, 日本放送出版協会, 1985年3月）
2. 『現代タイ農民生活誌』丸山孝一編,（「北タイ農村における子供および男児への役割期待とその変容」pp.59-90, 及び「北タイ農村の子供の生活とその変容」pp.91-125, を分担執筆, 九州大学出版会, 1996年1月）
3. 『トランスカルチュラルリズムの研究』江渕一公編（「地方文化の生成とそのプロトコル（国際儀礼）交換——大分・西スマトラ州文化交流事業の事例から——」pp.115-132, を分担執筆, 明石書店, 1998年11月）
4. 『アジアの文化人類学』片山隆裕編（「アジアにおける子どものジェンダー——韓国, タイ, 日本の性別選好とその背景——」pp.45-56, 及び「スマトラの観光開発——ミナンカバウ文化とクリンチの自然を巡る——」pp.165-177, を分担執筆, ナカニシヤ出版, 1999年3月）
5. 『いま, 学力を考える』九州大学教育学部編（「学力問題の多様な教育的文脈」pp.164-169, を分担執筆, 九州大学出版会, 2004年2月）
6. 『アジアの子どもと教育文化——人類学的視点と方法——』（単著）全267頁, 九州大学出版会, 2006年2月）
7. 『アジアから観る, 考える: 文化人類学入門』片山隆裕編（「多子多福と多男富貴の現在——東アジアにおける産育文化の再編——」pp.49-61, を分担執筆, ナカニシヤ出版, 2008年4月）

## 論文

1. 「民俗学的にみた児童漫画」『九州教育学会研究紀要』, 第8巻, pp.59-66, 1980年3月
2. 「少年漫画における「狡猾者譚」」『九州人類学研究会報』, 第8号, pp.21-26, 1981年3月
3. 「社会変動過程における象徴的ジャンルの機能」『九州大学教育学部附属比較教育文化研究施設紀要』, 第33号, pp.101-116, 1982年3月
4. 「韓国社会における伝統的児童観——親族・祖先祭祀の視点から——」『九州教育学会研究紀要』, 第10巻, pp.127-134, 1982年6月
5. 「通過儀礼よりみた韓国伝統社会の青・少年期の特質」『九州大学教育学部附属比較教育文化研究施設紀要』, 第34号, pp.49-66, 1983年3月
6. 「韓国キリスト教の土着化における文化的「新解釈」試論」『九州大学教育学部附属比較教育文化研究施設紀要』, 第35号, pp.73-89, 1984年3月
7. 「闘牛にみる徳之島の社会と民俗」『九州人類学研究会報』, 第13号, pp.11-18, 1985年8月
8. 「フィールドワークの身体論」『光陵女子短期大学研究紀要』, 第4号, pp.139-148, 1986年3月
9. 「先端医療の展開と胎児および身体器官をめぐる社会・文化的諸問題」『光陵女子短期大学研究紀要』, 第5号, pp.91-115, 1987年3月
10. 「子殺しの技法と胎児・嬰兒観——日本の産育習俗をめぐる二つの文化的身体——」『光陵女子短期大学研究紀要』, 第6号, pp.29-53, 1988年3月
11. 「子殺しの説明とその身体コミュニケーションとしての形態——子育て, 虐待との共通枠組みを求めて——」『光陵女子短期大学研究紀要』, 第7号, pp.75-98, 1989年3月
12. 「日本の男児選好民俗の一事例——伊賀西部頭屋祭祀調査予報より——」『光陵女子短期大学研究紀要』, 第8号, pp.237-255, 1990年3月
13. 「産育関係の統計より見た韓国の男児選好——資料紹介とその社会分析指標としての有効性について——」『光陵女子短期大学研究紀要』, 第8号, pp.17-36, 1990年3月
14. 「女児選好の理由と背景について——民族誌あるいは統計調査（日本）資料を中心に——」『光陵女子短期

- 大学研究紀要』, 第9号, pp.269-286, 1991年3月
15. 「人, 稲, イエの再生産儀礼としての子どもの祭り——名張市箕曲中村のカギヒキ・ネントゴの事例から——」『西日本宗教学雑誌』, 第13号, pp.68-78, 1991年3月
  16. 「韓国産育民俗の一側面——男児選好の背景と変容を中心に——」『比較民俗研究』, 第5号, pp.148-156, 1992年3月
  17. 「韓国の「一人っ子運動」」『光陵女子短期大学研究紀要』, 第10号, pp.381-393, 1992年3月
  18. 「日韓の親子関係における子供観——性別役割期待とその類型化の試み——」『大分県立芸術文化短期大学研究紀要』, 第30巻, pp.1-23, 1992年12月
  19. 「写真の人類学のために——第三世界の家族写真研究に関する覚え書き——」『大分県立芸術文化短期大学研究紀要』, 第31巻, pp.145-151, 1993年12月
  20. 「北タイ農村家庭における壁面写真とその構成」『大分県立芸術文化短期大学研究紀要』, 第32巻, pp.169—185, 1994年12月
  21. 「タイ北部山地民子弟と寺院学校」『大分県立芸術文化短期大学研究紀要』, 第33巻, pp.113-122, 1995年12月
  22. 「北タイの農村家庭における写真展示とその視覚的「語り」」『比較家族史研究』, 第11号, pp.97-112, 1997年3月
  23. 「イスラム母系社会における子ども文化の一側面」『大分県立芸術文化短期大学研究紀要』, 第35号, pp.83-99, 1997年3月
  24. 「インドネシア・西スマトラ村落における通過儀礼の一側面」『九州大学大学院教育学研究紀要』, 創刊号, pp.209-227, 1999年3月
  25. 「通過儀礼と表象テクノロジー——子どもをめぐる民俗表象形式への写真の介入——」『九州大学大学院教育学研究紀要』, 第2号, pp.191-201, 2000年3月
  26. 「中国新疆ウイグル社会における宗教及び言語の伝達・学習環境——イスラム知識と民族語を中心として——」丸山孝一編『新疆少数民族文化の持続と変容に関する総合的研究』(文部科学省科学研究費補助金報告書) pp.43-58, 2000年3月
  27. 「中国新疆ウイグルにおける産育知識とその伝達——教育民族誌的素描——」丸山孝一編『中国ナショナルリズムと少数民族文化の変容過程に関する文化人類学的研究』(文部科学省科学研究費補助金報告書) pp.66-75, 2001年3月
  28. 「中国新疆ウイグルの産育儀礼とその変容——处理的知識を中心に——」『九州大学大学院教育学研究紀要』, 第3号, pp.177-190, 2001年3月
  29. 「韓国居住空間の再編と家族関係——性・年齢原理をめぐる——」『韓国家の構造と家族の動態に関する研究』丸山孝一編, (2000年度韓国国際交流財団共同研究プロジェクト成果報告書), pp.37-50, 2001年3月
  30. 「学校教育研究における儀礼論的接近——若干のレビューと展望——」『九州大学大学院教育学研究紀要』, 第4号, pp.159-172, 2002年3月
  31. 「伝達・学習・状況——文化伝達・文化化論の展開に関する覚書——」『国際教育文化研究』, 第2号, pp.69-80, 2002年3月
  32. 「タイ教育開発と寺院学校」『九州大学大学院教育学研究紀要』, 第5号, pp.141-160, 2003年3月
  33. 「人類学的子ども・教育研究の組織的展開——自校史的視点から——」『九州大学大学院教育学研究紀要』, 第6号, pp.55-75, 2004年3月
  34. 「子どもの娯楽メディアにおける文化政治——表象と実践をめぐる大人／子どもの関係性——」『子ども社会研究』, 第10号, pp.103-114, 2004年6月
  35. 「中国の商品住宅と都市家族——大連市における住まい・産育・扶養——」『中国の市場経済導入に伴う住

- 宅所有権の発生とその住環境への影響』菊地成朋編, (文部科学省科学研究費補助金報告書)pp.79-90, 2005年3月
36. 「中国教育人類学の可能性と課題——少数民族の教育文化研究のために——」丸山孝一編『民族文化の境界領域に関する文化力学的研究——中国西域少数民族の場合——』(文部科学省科学研究費補助金報告書) pp.22-34, 2005年7月
  37. 「性別選好の産育技法について」『国際教育文化研究』, 第6号, pp.19-30, 2006年6月
  38. 「中国少数民族の言語と集団間関係の新局面——新疆ウルムチの「民考漢」を中心に——」坂元一光, シリナイ・マンティ『九州大学大学院教育学研究紀要』, 第9号, pp.71-90, 2007年3月
  39. 「人類学的教育及び民族教育研究の動向——東アジア諸国と米国を中心に——」坂元一光, ジェフ・ゲーマン, アナトラ・グリジャナティ, 李ハジョン, 『国際教育文化研究』, 第7号, pp.157-181, 2007年6月
  40. 「ピュシユック(揺籃)育児とその再編——中国新疆ウイグルの産育文化の一側面——」著者:坂元一光, アナトラ・グリジャナティ, 『九州大学大学院教育学研究紀要』, 10号, pp.59-78, 2008年3月
  41. 「中国少数民族の子どもと漢語受容——新疆都市部における言語接触と人間形成——」坂元一光, アナトラ・グリジャナティ, 『国際教育文化研究』, 第8号, pp.19-34, 2008年6月
  42. 「教育する衣食住——子ども生活文化論ノート——」『国際教育文化研究』, 第8号, pp.83-93, 2008年6月
  43. 「新疆ウイグル社会の女兒に対する産育及び教育——中国少数民族の子どもとジェンダー——」坂元一光, アナトラ・グリジャナティ『九州大学大学院教育学研究紀要』, 11号, pp.151-165, 2009年3月
  44. 「子どもの民俗行事と地域の活性——柳川の観光ひな祭りと女性の「さげもん」細工——」『国際教育文化研究』, 第8号, pp.39-49, 2009年6月
  45. 「日本の感性(Kansei)研究をめぐる粗描——レビューとスケッチ——」『九州大学大学院教育学研究紀要』第12号, pp.31-47, 2010年3月
  46. 「ひな祭り行事の再構築と女性の手工芸活動——柳川さげもん調査予報——」坂元一光, アナトラ・グリジャナティ, 『九州大学大学院教育学研究紀要』第13号, pp.61-75, 2011年3月
  47. 「伝統を創造する女性たち——酒田の傘福復興と事業と地域学/地元学——」『国際教育文化研究』, 第12号, pp.1-15, 2012年6月
  48. 「吊るし飾りを伴う観光ひな祭りの比較——柳川, 稲取, 酒田における女兒初節句習俗の再構築——坂元一光, 末廣真木, 宮本聡, 翁文静, 吉丸梓, 泉純子, 藤原旅人)『国際教育文化研究』, 第12号, pp.39-49, 2012年6月
  49. 「地域女性の学習資源としての手芸伝統——柳川のローカルな知をめぐって——」『九州大学大学院教育学研究紀要』, 14号, pp.59-73, 2012年3月
  50. 「伝統の創造と地域学——平成傘福物語——」『国際教育文化研究』, 第13号, pp.119-212, 2013年6月
  51. 「子どものためのモノづくりと差異化の技術・デザイン」『国際教育文化研究』, 第13号, pp.1-14, 2013年6月
  52. 「愛でる身体と作る身体——柳川の伝統手芸活動における技術的实践——」『国際教育文化研究』第14号, pp.1-13, 2014年8月
  53. 「変化を生きる農民能——黒川能と新開能の今日的継承——」坂元一光, 宮本聡『九州大学大学院教育学研究紀要』, 17号, pp.1-21, 2015年3月, 平成27年3月
  54. 「日常生活行動場面から見た客家土楼における子どもの住環境」劉秀鳳, 南博文, 坂元一光『子ども環境学』(子ども環境学会)11巻2号, pp.59-68, 2015年3月
  55. 「体得のフィールドワーク——フィールド参入における技能習得と関係性の変容——」坂元一光, 翁文静, 宮本聡, 金子真紀, 『国際教育文化研究』(国際教育文化研究会), 第15号, pp.1-21, 2015年8月
  56. 「里の能と町の能——山戸能と松山能の継承概況——」『九州大学大学院教育学研究紀要』, 18号, pp.1-14, 2016年3月

57. 「客家土楼における地域・住環境の変容——世界遺産登録と人口流動を中心に——」劉秀鳳, 坂元一光 『国際教育文化研究』(国際教育文化研究会), 第16, pp.1-13, 2016年9月
58. 「参与の周縁——庄内黒川能調査をめぐる自己言及的覚書——」『九州大学大学院教育学研究紀要』第19号, 1-18頁, 2017年3月
59. 「具体の科学」としての教育プログラム——「〇育」を中心に——」坂元一光, 宮本聡, 金子真紀, 『九州大学大学院教育学研究紀要』20号, pp.23-39, 2018年3月
60. 「教育CSRとしての「〇育」プログラムの可能性と課題——学校教育と企業の協働に向けて——」金子真紀, 宮本聡, 坂元一光 『九州大学教職課程研究紀要』2号, pp.67-84, 2018年3月
61. 「柳川さげもん民俗誌——手芸コミュニティと民俗技術の創造的継承——」『九州大学大学院教育学研究紀要』21号, pp.1-23, 2019年3月

## 翻訳

1. 『儀礼と象徴——文化人類学的考察——』(江瀧一公・伊藤重人編, pp.543-566, 「フランスの諺における話し言葉の性格」(By Fischer, J.L.& Fischer, S.) の翻訳を担当, 九州大学出版会, 1983年5月)

## 総説・書評他

1. 「狡猾者譚としての少年漫画」『教育と医学』第29巻2号, pp.28-35, 1981年2月
2. 「少年漫画のピカロたち」『泉<季刊>』第32号, pp.62-64, 文化総合出版, 1981年5月
3. 「コミュニケーションとしての挨拶」『教育と医学』第29巻5号, pp.93-99, 1981年9月
4. 「祭りにおける競技」『教育と医学』第33巻8号, pp.45-51, 1985年8月
5. 「誕生のセクシズム——男児を好む文化と女兒を好む文化——」『教育と医学』第37巻6号, pp.18-24, 1989年6月
6. 「母系社会における父親——インドネシア・ミナンカバウの結婚式の風景から——」『教育と医学』48巻9号, pp.43-49, 2000年9月
7. 『さげもんに託す地域の明日——伝統をつくり, めでる, つなぐ——』, 九州大学教育人類学研究室発行, 全16頁, 2014年3月

## その他

1. 『事典 家族』(比較家族史学会編) 弘文堂, 1996年2月, 執筆項目: 「産屋」(pp.71-72), 「擬婉」(p262), 「授乳親族関係」(pp.432-433), 「想像妊娠」(p538), 「年祝い」(p641), 「初誕生」(p688), 「避妊」(pp.701-702)
2. 『文化人類学最新術語100』(綾部恒雄編) 弘文堂, 2002年7月, 執筆項目: 「おたく」(pp.36-37), 「こども(期)」(pp.70-71), 「まんが・アニメ」(pp.184-185), 「メディア・キッズ」(pp.198-199)